

# 77. 慢性骨髄性白血病に対する同種移植の後方視的検討

## 研究の概要

慢性骨髄性白血病(CML)は特効薬であるチロシンキナーゼ阻害剤(TKI)が奏功しますが、急性転化発症例やTKI無効例では同種造血幹細胞移植が唯一の根治的治療です。TKI出現後に当院で施行した慢性骨髄性白血病に対する同種移植の後方視的解析を計画しました。

## 研究の対象、方法と目的

2006年2月より2018年12月までに当院で行った同種造血幹細胞移植のうち、慢性骨髄性白血病に対して初回同種造血幹細胞移植を行った患者様を対象とします。10症例のカルテデータを元に後方視的に解析することによって、疾患種類、疾患リスク、ドナー、前処置などが予後に与える影響を検討します。TKIの登場後にも症例によっては治癒のために必要とされる同種造血幹細胞移植の経過を詳細に解析することにより、今後の移植治療の成績向上に寄与することが期待されます。

## 本研究の参加について

本研究により患者様に新たな検査や費用の負担が生じることはありません。また、研究に扱う情報は、個人が特定されない形で厳重に扱います。皆様の貴重な臨床データを使用させていただくことにご理解とご協力をお願いいたします。本研究にご自身のデータを研究に使わないでほしいと希望されている方、その他研究に関してご質問がございます際は、末尾の問い合わせ先までご連絡ください。

## 調査する内容

本研究は、新たに試料・情報を取得することではなく、既存のカルテデータ（問診記録、身体所見、検査データ）を用いて実施する研究です。研究対象者（患者様）の個人情報（氏名、住所、電話番号）は記載せず、個人情報は特定されません。

## 調査期間

研究期間：当院倫理委員会承認日以後～2021年3月31日（調査対象期間：2006年2月1日～2018年12月31日）

## 研究成果の発表

研究成果については、学会、論文などでの発表を予定しています。

## 研究代表者

血液内科 窪田 晃

当院における研究責任者

血液内科 窪田 晃

問い合わせ先

血液内科 窪田 晃

TEL: 096-353-6501